



荒川区民の命を守るため区独自の緊急対策 10億5千万円を含めた補正予算を緊急可決しました

議 決 日 令和2年5月1日（金曜）

内 容

区は新型コロナウイルス感染症から、区民の生命と財産を守り区民生活を支えるため、区独自の新型コロナウイルス感染症緊急対策10億5千万円をはじめ、特別定額給付金等の国や都の支援にあわせ、合計約233億6千万円の補正予算を令和2年5月1日、荒川区議会において令和2年度開会会議で緊急可決しました。

荒川区議会では、全国でも数少ない通年議会制を採用し、緊急案件についても迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築しています。こうした利点を最大限生かし、区独自の緊急対策をはじめ、給付金等の素早い支給を区と区議会が緊密に連携の上進めてまいります。

荒川区独自の新型コロナウイルス感染症緊急対策 10億5千万円

区民の医療への不安を払拭するため、区独自でPCR検査の体制強化等受診・治療体制を支援するとともに、避難所における感染症対策を行う等緊急対策を実施します。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策 800,000千円

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、区民が安心して医療機関を受診でき、希望する検査が受けられるとともに、入院治療や一人ひとりが望む環境で療養ができるよう、荒川区独自の支援を行います。

① 荒川区医師会と連携したPCRセンターの設置

荒川区医師会と連携し全面協力をいただきながら、区独自のドライブスルー、ウォークスルー形式も可能なPCRセンターを立ち上げ、区民が必要な検査を必要なときに受けられ、結果が早く判明するようPCR検査の体制強化を図ります。

② 荒川区医師会をはじめとした医療環境整備に必要な補助の実施

区民が安心して受診・入院治療ができる体制を確保するため、新たに入院・外来の受入体制を整備する医療機関に対する環境整備費の補助や、外来・入院医療機関における医療従事者への手当等の補助を行うとともに、受診・治療体制を確保するために必要な医療用マスクや防護服、消毒液等の配付等、医療崩壊を防ぐため、医療従事者及び医療機関等への支援を行います。

(2) その他の緊急対策経費（予備費） 200,000千円

災害発生時の緊急対応等に備え計上している予備費3億円に加えて増額し、感染症の状況や経済動向を踏まえ、機動的に必要な対策を講じてまいります。

(3) 避難所感染症対策 50,000千円

新型コロナウイルス感染症拡大時に地震や水害が発生し、区民が避難所へ避難する状況となった場合に感染拡大を防止できるよう、区内の避難所にマスクや消毒液、体温計、防護服などの備蓄物資を充実します。

特別定額給付金等の支給対応 223億1千万円

国や都の支給を踏まえ、区民の暮らしを支えるため特別定額給付金等を一日も早く支給できるよう対応します。

(4) 特別定額給付金（仮称）事業 22,081,964千円

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、家計への支援を行うため、特別定額給付金を支給します。

この度の国における特別定額給付金（仮称）の支給の趣旨を踏まえ、4月23日付けで給付金支給専任の組織を立ち上げ、区民の皆様へ一刻も早い支給を行えるよう進めていきます。

(5) 子育て世帯への臨時特別給付金事業 230,274千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、国の支給を踏まえ、児童手当を受給する世帯に対する臨時特別給付金を実施します。